

参考資料

弓野 綾 | 高柳喜代子 | 藤田雅美

外国人診療で困ったときの相談先一覧

◎初動の勧め

外国人診療で困りごとがあると感じたとき、医療者 1 人で抱え込まずに、自施設内の医療ソーシャルワーカー（MSW）、看護職、医療事務、地域連携室などと早めに協働し、必要に応じて地域の多文化相談窓口へ接続する。院内に MSW や地域連携室などがない場合にも、多職種が協働して院外資源へ接続する方法の 1 つとして、表 1 を参考に、① 受

付・トリアージで、日本語併記の多言語問診票を常備（印刷 / 電子）しておき、症状・既往・服薬情報だけでも先に記入してもらい、② 必要時は医療機関から公的多言語相談へ連絡し、適切な窓口や次の一歩を確認する。相談先では、医療だけでなく「言語・制度・生活課題」が同時並行で扱われる。院内外の資源と患者を早く確実につなぐことで、診療負担の軽減と受療継続を両立できる。

表 1 | 外国人診療に役立つ Web サイト・相談先

診療サポート資料	
多言語医療問診票（国際交流ハーティ港南台、KIF）：主要言語のテンプレートで初期評価を円滑化 http://www.kifjp.org/medical/	
医療×「やさしい日本語」：医療説明の平易化に役立つ表現集 https://easy-japanese.info/	
公的多言語相談（在留・生活・就労）	
出入国在留管理庁・外国人総合相談支援センター：在留・生活全般の公的相談窓口。多言語対応 https://www.moj.go.jp/isa/support/consultation/japanese.html	
外国人在留支援センター（FRESC）：在留・労働・生活のワンストップ支援。 https://www.moj.go.jp/isa/support/fresc/fresc_2.1.html	
多言語生活相談窓口一覧（CLAIR）：全国の多言語相談窓口を横断的に探せる一覧 https://www.clair.or.jp/j/multiculture/association/consultation_list.html	
医療通訳・紹介医療機関探し	
AMDA 国際医療情報センター：外国語対応の医療機関案内と電話医療通訳の情報を提供 https://www.amdamedicalcenter.com/	
医療情報ネット（ナビイ）：全国の医療機関検索。外国語対応・診療時間などの基礎情報を確認可 https://www.iryuu.teikyouseido.mhlw.go.jp/zkn-web/juminkanja/S2300/initialize	
全国医療通訳者協会（NAMI）：医療通訳者の紹介や研修情報の入口に https://national-association-mi.jimdofree.com/	
Find a Doc, Japan：医療機関の外国語対応状況を外国人当事者の目線で整理した、多言語の医療機関データベース（地域・言語で検索可） https://www.findadoc.jp/	
感染症	
外国人結核電話相談（結核研究所）：医療機関、保健所、患者本人から相談可 https://jata.or.jp/various-inquiries/telephone-consultation/	
全国 HIV・エイズ・性感染症 検査・相談窓口情報サイト「HIV 検査相談マップ」 https://www.hivkensa.com/language	
産業保健・労働	
外国人技能実習機構（OTIT）・母国語相談：労働・人権侵害などの通報・相談を母語で支援（PDF 案内） https://www.otit.go.jp/files/user/210331-1.pdf	
労働条件相談「ほっとライン」（厚生労働省・14 言語）：賃金・ハラスメントなどの無料相談。夜間・土日も対応 https://www.check-roudou.mhlw.go.jp/lp/hotline/	

次頁へ続く

表 1 の続き

メンタルヘルス	
	社会的包摂サポートセンター：生活困難と心の不調に寄り添う支援窓口 https://www.since2011.net/
	よりそいホットライン（多言語）：電話・SNS での多言語相談。匿名で相談可。緊急時の一次受け皿に https://www.since2011.net/yorisoi/n2/
	よりそいホットライン 外国語による SNS 相談（24 時間）：深夜帯の支援にも有用（16：00～22：00） https://www.since2011.net/yorisoi/n2-sns/
患者に提供する受診の基礎情報	
	訪日外国人のための救急車利用ガイド（消防庁・16 言語）：受診判断と救急要請の基本を外国語で共有 https://www.fdma.go.jp/publication/portal/post1.html
セクシュアル／リプロダクティブ・ヘルス	
	国際保健協力 NGO シェア（SHARE）：母子保健通訳相談 https://share.or.jp/activity/globalhealth/japan.html
	コムスタカー外国人と共に生きる会：予期せぬ妊娠・性暴力などの相談支援 http://www.kumustaka.org/
	日本でのにんしん：妊娠・出産の制度と相談先を多言語で案内 https://ninshin-japan.weebly.com/
外国人診療ネットワークの活用	
	MINNA（みんなの外国人ネットワーク）：外国人当事者の声と地域資源を可視化し、医療者・外国人相談員・研究者が横断連携。地域勉強会や情報共有の入口に。 https://minna-health.com/
	MICaN（ともに創る外国人のケアネットワーク）：2026 年 5 月開設予定。医療者・通訳・外国人当事者が協働し、医療者対応の研修（ロールプレイなど）を実施。地域での研修開催や相談の窓口に。問い合わせは上記の MINNA または下記の JPCA 外国人診療向上ワーキンググループまで
	JPCA（日本プライマリ・ケア連合学会）外国人診療向上ワーキンググループ：学会内ネットワーク。事例検討、教材共有、症例相談のマッチング、最新情報の発受信に活用 https://www.primarycare-japan.com/assoc/about/ab_committee/

◎制度メモ（現場で役立つ最小知識）

- 無料低額診療事業：生計困難者（外国人の場合、在留資格の状態を問わず）が対象。
- 公費などの助成：母子保健、精神保健、自立支援医療、感染症〔結核・ヒト免疫不全ウイルス（HIV）・COVID-19 など〕、指定難病は、国籍・在留にかかわらず活用可能。院内周知を行う。

ゆみのあや¹⁾ たかやなぎきよこ²⁾ ふじたまさみ³⁾

- 1) 横浜市寿町健康福祉交流センター診療所 / 東京大学大学院医学系研究科 医学教育国際協力学部門 〒231-0026 神奈川県横浜市中区寿町 4-14
- 2) 結核予防会 結核研究所
- 3) 国立健康危機管理研究機構 国際医療協力局 / みんなの外国人ネットワーク（MINNA）

◎外国人診療の（開始～終了までの）実務フロー（例）

- ① 可能なら外国人患者が受診する前に、遠隔でも対面でもよいので医療通訳者を確保 / 多言語医療問診票を準備
- ↓
- ② 診療と同時に院内の MSW や看護職、医療事務、地域連携室へ共有
- ↓
- ③ 表 1 の窓口へ接続し、言語・在留資格・生活課題を仕分けて対応してもらう
- ↓
- ④ 受診後、必要に応じて他院紹介状の作成、または自施設の次回予約でフォロー
- ↓
- ⑤ 他院受診の場合、患者の使用する言語に対応する連絡先（医療通訳・相談窓口）を患者へ確実に手渡しする